



(スポ振ルネッサンス 1)

心をつなぐ活動を

京都障害者スポーツ振興会 副会長 水谷 裕

京都障害者スポーツ振興会(以下、振興会という)が全京都心身障害者スポーツ振興連絡協議会としてこの京都に誕生して37年、この間、一人の会長を得て大きく発展をしてきました。一昨年には、組織改正を行い、体制の強化などが図られてきました。

発足当初とは、様々な点で大変化を遂げ、事務局には専従の職員を置き、年間に催す事業も、それらに関わってくれるボランティアのスタッフ等も格段に増えました。そして、何よりも、大きな変化は、振興会の活動に関わってきた多くの人々の尽力によって、障害のある人々のスポーツ活動が府内に拡がりを見せ、大なり小なりの差はあるにしても、各地域に「場」が確保されてきた。中でも、京都市障害者スポーツセンターができ、障害のある人々のスポーツの推進拠点としての存在は大

きいと言えます。

この37年間、何もなかったところからスタートし、しゃにむに活動をして来たのですが、フツと振り返ってみると、発足当初、「私たちが目指したものは何だったのだろうか?」「現状は、どうなんだろう?」「と、首をかしげていることが良くあります。確かに、年間の様々な事業、結果として成功裡に終わってはいないので、そのプロセスを観ていると、それらに対する姿勢や方法など「何か違うんじゃないの?」「何か勘違いをしないの?」「何出そうになることがある。

なんでだろう?意識の違い?哲学の無さ?私たちが、熱い思いを持って築こうとしてきた振興会は何処へ行ってしまったの?途中から振興会の活動に参加してきた人なら「昔とは違うから」と一言で言ってしまう、それで終わりがもしれない。しかし、無から立ち上げてきた者には、簡単に受け入れがたいことと言えます。

振興会の活動のコンセプトは「主人公である障害

のある人々のスポーツ活動を支援すること」つまり、「支える」ことなのです。誰が主人公かを忘れ、支えず押しつけているどころか、支えられている人さえ見受けません。

振興会は、3月末を持って内山会長が勇退され、新しく前副会長兼理事長の川面氏を会長に迎えました。そこで、私は、振興会の置かれていた現在の諸々の状況を踏まえ、また大切にしながら、当初の思いをスタッフ一人一人の胸に秘めて「心をつなぐ活動」をして欲しいとの思いで、「スポ振ルネッサンス(再生)」を、これから訴え続けて行きたいと考えます。

「事務局新スタッフ紹介」  
新生活のスタート

京都障害者スポーツ振興会 事務局 田尾 まどか

桜が咲き誇る4月に、私は京都障害者スポーツ振興会の事務局での新生活がスタートすることになりました。

私が障害者スポーツと出会ったのは、高校1年生のときにテレビで観戦した「長野パラリンピック」であったと思います。選手

一人一人が障害のない方と同じように競技をしているのを見て「凄いな・・・」と感じたのが、障害者スポーツの世界に興味を持つきっかけとなりました。

私は、この障害者スポーツに係わりたいと決意して専門学校に進み、そのかたわら、京都市障害者スポーツセンターでアルバイトをしていました。また、サンアビリティーズ城陽では体育指導員として勤務をしていました。利用される方の障害の程度は様々ですが、利用される方がそれぞれの目的を持ってスポーツをされていくのが印象的であり、とても勉強になりました。

京都障害者スポーツ振興会事務局の仕事は、今まで携わってきた仕事とはひと味違うと思います。今まで積み重ねてきた経験と学んできたことを少しでも生かしていきたいと思えます。

まだまだ未熟者ですが、一生懸命努力していきますので、今後とも長いお付き合いをよろしく願います。

編集でパソコンをお借りしております。使い方がさっぱり解らないので、優しく教えてください。こちらこそよろしく願います。編集委員より

行事	4月	19(土)	フライングディスク講習会	京都市障害者スポーツセンター	来月の つどいは  5 / 11  第2日曜日
		20(日)	障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
		27(日)	京都障害者フライングディスク協会設立記念大会	京都府立体育館	
			城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
予定	5月	11(日)	第17回障害者シンクロナイズトスイミングフェスティバル	京都市障害者スポーツセンター	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (3月2日に一部更新)					